

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要や経済政策による民間消費を背景に緩やかな回復の兆しがみられたものの、欧州債務問題の再燃や海外景気の減速により円高圧力が強まる中、厳しい雇用環境の改善は進まず、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

調剤薬局・介護業界におきましては、平成24年4月に調剤報酬改定、薬価改定、介護報酬改定が同時に実施され、その対応が急がれる状況にあります。

このような中、当社は主力とする調剤薬局事業において従来どおり安全性を最優先とした店舗運営を行いました。ヘルスケア事業では介護付有料老人ホームの運営に加え、平成24年3月に訪問介護事業会社(神戸市)を取得し、訪問介護事業及び居宅介護支援事業に参入しました。また、医薬品卸事業においてはジェネリック医薬品の販路拡大に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,104百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益301百万円(同10.3%減)、経常利益280百万円(同12.2%減)、四半期純利益346百万円(同104.6%増)となりました。なお、四半期純利益の大幅な増加は、株式売却益331百万円によるものです。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、薬価引下げの影響を受けましたが、処方箋の長期化により処方箋単価が前年を上回りました。売上高は4,613百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は353百万円(同12.7%減)となりました。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、介護付有料老人ホーム(6施設)の入居者が増加したことにより、売上高284百万円(前年同期比39.7%増)、営業利益41百万円(同267.4%増)となりました。

#### (医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、厚生労働省が示しているジェネリック医薬品の数量シェアを2012年度に30%以上とする数値目標を受けて積極的な営業活動を推進したことにより、売上高188百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益25百万円(同61.3%増)となりました。(内部売上高を含む売上高は279百万円となり、前年同期比16.5%増。)

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、安定した賃料収入により売上高18百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益10百万円(同0.2%減)となりました。

なお、セグメント間の内部売上高として92百万円を消去するとともに、全社における共通経費として129百万円を計上しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は15,079百万円となり、前連結会計年度末と比較して269百万円増加いたしました。

流動資産の合計は7,078百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,728百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1,600百万円によるものです。

固定資産の合計は8,000百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,458百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の減少1,676百万円によるものです。

負債合計は10,522百万円となり、前連結会計年度末と比較して17百万円減少いたしました。これは主に、買掛金の増加219百万円、賞与引当金の増加103百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)の増加210百万円、短期借入金の減少600百万円によるものです。

純資産合計は4,556百万円となり、前連結会計年度末と比較して287百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益346百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績予想につきましては、平成24年4月5日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

当社は、平成24年6月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第1四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額	8,866円23銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—